

タイル・石張り用1液常温硬化型弾力性エポキシ樹脂系接着剤



ボンドエフлекс
タイルワン

- JIS A 5548 (陶磁器質タイル用接着剤タイプI) 適合
- 建設省 (現国土交通省) 官民連帯共同研究「有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発」の品質基準 (案) 適合品

エフлексスタイルワンは、陶磁器質タイルをセメント系下地に接着するための環境対応型1液湿気硬化型弾力性接着剤です。JIS A 5548 (陶磁器質タイル用接着剤タイプI) および官民連帯共同研究「有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発」の品質基準 (案) 適合品であり、作業性能にも優れています。

JAIA-001456 F☆☆☆☆

■用途

- 内外装タイルの接着
- 石材の接着
- 各種内外装パネルの接着
- ※非多孔質 (金属など) 同士の接着には使用しないでください。

■特長

- 一液型であるため、計量・混合の手間が要らず、より高い安全性が期待できます。
- コテ切れが良く、塗布作業性が良好です。
- 弾力性型であるため、躯体の変形 (振動、温度差による膨張・収縮など) に追従することができ、外部応力の緩衝効果に優れます。
- 環境、健康に優しい環境対応型接着剤です。
- 耐水、耐熱性などの耐久接着性に優れ、建設省官民連帯共同研究「有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発」の品質基準 (案) に合格します。

■性状

項目	エフлексスタイルワン
主成分	変成シリコン・エポキシ樹脂
外観	着色ペースト状
粘度 [23℃]	300~800Pa・s
比重	1.40±0.10
張付け可能時間	約30分 (夏季) 約60分 (冬季)

※数値は規格値ではありません。

■使用方法

- 施工面は、ほこりや油などを取り除き乾燥させてください。
- フィルムパックの端部をはさみなどで切り取り、開封してください。必要量を手で絞るかコテでしごいて板の上に取り出し、使用してください。
- ※開封後はすみやかに使い切るようにし、短時間でもなるべく空気と接触させないようにしてください。
- 下地にコテで押さえつけるように塗りつけた後、クシ目ゴテを用いて、しっかりクシ目を立ててください (角度約60度)。塗布量の目安は、1m²当たり1.5~3.0kgです。接着剤の1回当たりの塗布面積は、接着剤の張付け可能時間内に張り終える面積にしてください。
- 接着剤の塗布後は直ちにタイルを張付けてください。目地の通りを見ながら、タイルを十分に押さえつけて圧着するように張付けてください。張付け可能時間の目安は、塗布後夏季30分、冬季60分ですので、この時間内にタイル張り、目地直しを終わらせてください。2~3m²毎に一度タイルを剥がし、タイル裏面に接着剤が充分付着していることを確認してください。
- 目地詰めは、施工完了後最低1日養生し、接着剤が硬化した後におこなってください。冬季 (低温時) は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めをおこなってください。
- ※5℃以上でご使用ください。
- ※降雨・降雪時の施工は避けてください。
- ※トンネルタイル以上の重いタイル、大きいタイルは予めタイルのズレを確認してください。

技術データ

1. 官民連帯共同研究「有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発」の「外装タイル・石張りシステム用接着剤の品質基準(案)」に基づく品質試験

項目	引張接着強さ				試験環境
	接着強さ[N/mm ²]		凝集破壊率[%]		
	測定値	基準	測定値	基準	
標準	1.28	0.60以上	100	75以上	標準状態
低温硬化	1.13	0.40以上	100	50以上	標準状態
アルカリ温水	0.66	0.40以上	100	50以上	標準状態
冷熱水中繰り返し	1.86	0.40以上	100	50以上	標準状態
熱劣化	2.83	0.40以上	100	50以上	標準状態

※被着体：下地/モルタル(70×70×20mm)
 タイル/陶磁器質タイル(45×45mm)
 ※塗布条件：標準クシ目ゴテ/5mm山高さ 5mmピッチ
 ※項目：標準養生/23±2℃、(50±5)% 28日間
 低温硬化/5±2℃ 28日間
 アルカリ温水/標準養生後、60℃水酸化カルシウム飽和水溶液中 7日間
 冷熱水中繰り返し/標準養生後、20±2℃水中4時間→-20±2℃
 気中4時間→80±2℃気中16時間 20サイクル
 熱劣化/標準養生後、80±2℃気中 14日間
 ※試験環境：標準状態/23±2℃、(50±5)%
 ※引張速度：3mm/min

項目	皮膜物性				試験環境
	引張強さ[N/mm ²]		伸び[%]		
	測定値	基準	測定値	基準	
標準	1.24	1.00以上	69	30以上	標準状態
高温	1.09	1.00以上	43	30以上	80±2℃
低温	1.97	1.00以上	92	30以上	-20±2℃
熱劣化	1.45	1.00以上	49	20以上	標準状態
アルカリ温水	1.77	1.00以上	54	20以上	標準状態

※試験片の形状：JIS K 7113に規定するダンベル2号
 ※項目：標準養生/23±2℃、(50±5)% 28日間
 : 高温/標準養生
 : 低温/標準養生
 : 熱劣化/標準養生後、80±2℃気中 14日間
 : アルカリ温水/標準養生後、60℃水酸化カルシウム飽和水溶液中 7日間
 ※試験環境：標準状態/23±2℃、(50±5)%
 ※引張速度：100mm/min

2. JIS A5548 (陶磁器質タイル用接着剤) のタイプ I に基づく試験

項目	接着強さ*		判定基準
	引張接着強さ(N/cm ²)	(N/mm ²)	
標準	99 (接着剤)	58.8以上	
温水	62 (接着剤)	29.4以上	
熱劣化	193 (接着剤)	29.4以上	
低温硬化	106 (接着剤)	29.4以上	
アルカリ水中	82 (接着剤)	29.4以上	

※()内は破断位置
 標準養生：20±2℃、(65)% 7日
 温水：5±2℃ 7日→50±2℃温水中 24時間
 熱劣化：20±2℃、(65)% 7日→60±2℃ 28日
 低温硬化：5±2℃ 35日
 アルカリ水中：20±2℃、(65)% 7日→水酸化カルシウム飽和溶液中60±2℃ 48時間

3. 各種被着体に対する接着性

被着体 (VSモルタル)	接着強さ		汚染の有無
	接着強さ(N/mm ²)	破壊モード	
黒御影石	1.3	C	なし
ピアノコカラー	1.3	C	なし
磁器質タイル	1.3	C	—
陶器質タイル	1.3	C	なし
パーティクルボード	1.3	C	—
スタイロフォーム	0.1	G	—

接着物を23±2℃、(50±5)%で28日間養生後試験
 接着剤厚さ：5mm
 G：被着体の材質破壊
 C：接着剤の凝集破壊
 ※石材の種類や厚み及び使用条件によっては、汚染を発生することがありますので予め確認してください。

梱包容量 ●エフレックススタイルワン：2kgフィルムパック…9本入り/1ケース

色調 ライトグレー、ダークグレー、ブラック、(ベージュ/※特注色)

注意事項 健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 所定の用途以外には使用しない。●作業場所は十分に換気する。●取扱い中は皮フに触れないように注意し、保護具を着用する。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを行う。●作業衣などに付着した場合は、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。
- 蒸気などを吸い気が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●保管条件：40℃以下。開封後はすみやかに使いきる。●廃液は法令に従って処理すること。

※使用にあたっては、製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませよう願います。たします。(記載の性状等は2006年2月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系 (SI) による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 ボンド事業本部 大阪本社/大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) 〒541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927
 東京本社/東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) 〒101-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262)8173 FAX052(262)8175 仙台営業所 TEL022(211)5031 FAX022(211)4990 金沢営業所 TEL076(223)1565 FAX076(223)4794
 福岡支店 TEL092(551)1764 FAX092(551)1545 北関東営業所 TEL027(324)3002 FAX027(324)1187 広島営業所 TEL082(507)1911 FAX082(507)6676
 札幌支店 TEL011(612)0211 FAX011(612)0219 南関東営業所 TEL046(229)9610 FAX046(229)9636 高松営業所 TEL087(835)2020 FAX087(835)4623